

第2学年 国語科学習指導案

日時：平成26年10月24日（金）第5校時

場所：2年教室（2階）

授業者：山田 賢和

児童数：男18名、女15名

1 単元名・教材名

単元名：音読げきをしよう

教材名：お手紙

2 指導の立場

（1）子どもの実態

1学期の「ふきのとう」の学習では、人物の様子やしていることに気をつけて、役割音読をすることができた。「スイミー」の学習では、ワークシートで主人公の様子や会話などに着目し、視写することを通して、スイミーの気持ちを考えてきた。これらの学習から、物語にひたり、登場人物になりきって、音読することができるようになってきた。しかし、物語の中の重要な言葉に気付いて、正確に視写したり、間違えずにすらすら音読できない子どもが少なからずいる。また、動作しながら人物の様子を表現することや、挿絵と言葉をつないだり、前時までの学習場面と比べて読み取ったりすることを苦手とする子どもが多い。

（2）本時の指導について

【自分の考えをもつための指導方法の工夫】

言葉に着目する力を身に付けるために、一人読みではワークシートを活用し、がまくんの驚きの様子やうれしい様子が分かる言葉を視写させたい。着目させたい言葉である「きみが」「ぼくの親友」「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」を中心に、音読や動作化をしながら、二人のしたことや会話を確かめ、様子が分かる言葉を意識させたい。タブレットPCを使い、児童の表情に注目させたい。児童の音読する様子を撮影し、児童の表情からがまくんとかえるくんの気持ちを考えさせる。

【自分の考えを伝え合うための指導方法・学習形態の工夫】

一人読みを行う箇所をプリントで限定することで、課題に関わって着目する箇所が明確になるようにしたい。また、ペア交流を取り入れることで、全体交流のときに自信をもって発表できるようにさせたい。

【自分の考えを深めていくための指導方法の工夫】

深めの発問の前に、5場面と1場面の挿絵を比べて、がまくんとかえるくんの様子の違いに気付かせ、深めの発問をすることで、幸せな様子を表情から読み取らせたい。

3 本時の目標

深めの発問の前に、5場面と1場面の挿絵を比べて、がまくんとかえるくんの様子の違いに気付かせ、深めの発問をすることで、幸せな様子を表情から読み取らせたい。

4 本時の展開

深めの発問 [] 評価規準 ※ICT活用について

過程	過程の目標	主な学習活動	指導・援助
つかむ	○前時の学習を振り返り、本時の課題をつかむことができる。	1 前時の学習を振り返る。 2 5場面を音読し、本時の課題をつかむ。 お手紙を待っているときのがまくんとかえるくんの様子を読みとろう。	・学習の足跡の掲示を使って、前時の登場人物の様子を思い出す。
ふかめる	○がまくんの様子が分かる言葉を見付け、ペア同士で自分の考えを伝え合うことができる。 ○「ああ」「とてもいいお手紙だ」という会話を音読し、がまくんの「驚き」から「幸せ」へと、心が変化した様子を読み取ることができる。 ○かえるくんのお手紙を音読し、がまくんを感動させたかえるくんの気持ちに気付くことができる。	3 一人読みをし、がまくんの驚いている様子や、うれしい様子が分かる言葉を見付け、交流する。 ・がまくんの驚いている様子や、うれしい様子に着目しながら視写し、音読する。 4 全体交流をし、がまくんの様子が分かる言葉や、かえるくんの気持ちが込められた言葉について考える。 ①「きつと来るよ。」「だって、ぼくが、きみにお手紙を出したんだもの。」「きみが。」を音読し、挿絵と繋げて考え、お手紙のことを聞いたがまくんの様子を読み取る。 ・きみが書いたの。驚いた。かえるくんがぼくにお手紙を書いてくれたんだ。 ②「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」を音読し、がまくんの心の変化を考える。 ・1場面の「ああ。」と違って、ただの返事ではなく、感動していることが分かる。 ③本時の5場面と1場面の挿絵を比べて、がまくんとかえるくんの様子の違いに気付く、とても幸せな気持ちになっていることを確認する。 ・1場面では、自分で手や足を組んでいたのに、5場面では、肩を組んでいます。わけは、二人は親友だと分かったからです。 ④『親愛なる・・・かえる。』を音読し、かえるくんの気持ちが込められた言葉について考える。	・「ああ。」を実際に動作化することで、喜びを理解できるようにする。 ※音読の様子をタブレットPCで撮影し、表情から気持ちを読み取る。 ・本時の5場面と1場面の挿絵とを比較し、がまくんやかえるくんの表情などの違いに着目させ、挿絵を指し示しながら、理由をつけて話せるよう援助する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">『とてもいいお手紙だ。』と言っていますが、かえるくんのお手紙のどこがよかったのですか。』と発問し、自分のことを親友と言ってもらえて、とても幸せながまくんの様子を理解できるようにする。</div> ・「親友」と「友達」という言葉を比較することで、かえるくんはがまくんを「とても大切な友達」だと思って、「親友」は、かえるくんの気持ちを表す重要な言葉であることが分かるようにする。
まとめる	○お手紙を待っているがまくんとかえるくんの気持ちを吹き出しに書くことができる。 ○がまくんの感動や喜びを込めたまとめの音読をし、二人の幸せな様子を読み取ることができる。	5 本時のまとめをする。 ・お手紙を待つがまくんとかえるくんの気持ちを、吹き出しに書き、発表する。 ・がまくん：ぼくは、とても幸せな気持ちだよ。わけは、初めてお手紙をもらったし、そのお手紙にはかえるくんが、親友と書いてくれたからだよ。 ・かえるくん：ぼくは、とても幸せな気持ちだよ。わけは、親友のがまくんがぼくが書いたお手紙をとても喜んでくれたからだよ。 6.まとめの音読劇をする。 ・二人の幸せそうな様子を思い浮かべ、音読の仕方を工夫し、表情を考え、音読劇をする。	○お手紙の内容に感動したがまくんが、がまくんに手紙をよるこんでもらったかえるくんの幸せな様子を吹き出しに書いている(読) ・吹き出しから、本時の音読のポイントを押さえる。 ※音読の様子をタブレットPCで撮影し、音読の様子を確認する。

5 国語科単元指導計画

(1) 単元の見どころ

- ・場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して音読することができる。 < C - (1) - ア >
- ・叙述と挿絵を対応させたり、役割を決めて音読したりして、場面の様子について想像しながら読み、感想を発表し合うことができる。 < C - (1) - ウ >
- ・受け取った人が嬉しくなるお手紙を書くことができる。 < B - (1) - ウ >

(2) 単元を貫く課題

- ・がまくんとかえるくんの行動や会話から、二人の様子をたくさん見付けて、かんたんな体の動きを加えて、楽しい音読劇をしよう。

(3) 単元指導計画 : 全 1 2 時間

時数	目 標	主な学習活動	評価規準
一次 1	感想を発表し合うことを通して、学習の見通しをもつことができる。	・全文の範読を聞き、感想を書く。 ・終末に、音読劇をしたり、もらったうれしいような手紙を書いたりすることを確認する。	登場人物の行動や会話について、おもしろいと思ったところを、書いている。(関)
2 3	挿絵を参考に音読することを通して、話のあらすじを理解し、学習課題をつくることができる。	・全文を音読する。 ・挿絵をもとに5つの場面に分け、学習課題をつくる。 ・新出漢字や、語句の意味を確認する。	場面ごとに、がまくんとかえるくんがどうしたのかあらすじをつかみ、課題をつくっている。(読)
4	会話文と挿絵を照らし合わせながら場面を想像することを通して、誰の会話文であるか分かり、二人の行動を正しく捉えることができる。	・登場人物を確認する。 ・誰の会話文であるかに注意しながら、全文を音読する。 ・誰の言葉かが分かるよう、教科書に2色のシールを貼る。	誰の会話文なのか、地の文などから、根拠を明らかにして捉えている。(読)
二次 5	「だれもぼくにお手紙なんか～」などの会話文や挿絵に着目することを通して、誰からも手紙をもらえないがまくんの悲しい様子や、その気持ちに気づき、悲しい気分になったかえるくんの様子を読み取ることができる。	・役割に分かれて音読し、悲しいがまくんの様子を読み取る。 ・「ふたりとも、かなしい気分、げんかんの前にこしを下ろしていました。」と挿絵を対応させ、悲しい気分で座っている二人の様子を読み取る。 ・まとめの音読をする。(タブレットPC)	お手紙を待つがまくんとかえるくんの悲しい気持ちを、吹き出しに書いている。(読)
6	「しなくちゃいけないことがあるんだ。」に着目したり、かえるくんのしたことと挿絵を対応させたりすることを通して、がまくんに早く手紙を届けたいかえるくんの思いに気づき、悲しむがまくんを喜ばせるため	・かえるくんの会話文や、行動を音読することで、かえるくんが、がまくんに早く手紙を届けて、喜ばせてあげようとしていることを読み取る。 ・がまくんといっしょに手紙を待ちたくて自分が届けようと思った手紙を、知り合いのかたつむりくんに預けたかえ	悲しむがまくんを喜ばせるために手紙を書き、かたつむりくんに頼むかえるくんの様子を、吹き出しに書いている。(読)

	に手紙を書き、かたつむりくんに頼むかえるくんの様子を読み取ることができる。	るくんの様子を読み取ることができる。 ・まとめの音読をする。(タブレットPC)	
7	お昼寝をしている挿絵や二人の会話に着目することを通して、対照的な二人の様子に気づき、手紙を待つよう励ますかえるくんや、すねて投げやりになっているがまくんの様子を読み取ることができる。	・「お昼寝をしていました。」と挿絵をつなげて、手紙が来るはずないと、すねているがまくんの様子を読み取る。 ・役割に分かれて音読し、励ますかえるくんと、あきらめてすねているがまくんの様子を読み取る。 ・「まだからのぞきました。」と挿絵を対応させ、手紙が来るのを待ちわびているかえるくんの様子を読みとる。 ・まとめの音読をする。(タブレットPC)	自分に手紙が来るはずないと、すねてお昼寝をしているがまくんの様子や、そんながまくんに手紙を待つよう励ますかえるくんの様子を、吹き出しに書いている。(読)
8 本時	かえるくんのお手紙の中にある「ぼくの親友」という言葉と、がまくんの「きみが。」「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」という言葉や挿絵に着目し、お手紙をもらえることやかえるくんが「親友」と言ってくれたことを喜んでいてがまくんの気持ちを話し合うことを通して、かえるくんの優しさや友情に気づき、手紙の内容がわかっているにも関わらずお手紙を待つがまくんとかえるくんの幸せな様子を読み取ることができる。	・「きみが。」を音読し、挿絵をつなげて考え、お手紙のことを打ち明けられたがまくんの様子を読み取る。 ・「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」を音読し、かえるくんの言葉に感動しているがまくんの様子を読み取る。 ・かえるくんが書いたお手紙の内容から、がまくんに対するかえるくんの思いを読み取る。 ・「ふたりとも、とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。」と挿絵をつないだり1場面の挿絵と比べてたりしながら、二人の幸せな様子を読み取る。 ・まとめの音読をする。(タブレットPC)	お手紙の内容に感動したがまくんと、がまくんに手紙をよるこんでもらったかえるくんの幸せな様子を吹き出しに書いている。(読)
9	お手紙をもらうがまくんになって動作しながら話すことを通して、とても喜んでいてがまくんに気づきお手紙をもらってうれしいがまくんとかえるくんの様子を読み取ることができる。	・かえるくんの手紙の内容を振り返る。 ・お手紙をわたすかたつむりくんと、お手紙をもらうがまくんに分かれて動作して、手紙をもらってうれしいがまくんやかえるくんの様子を読み取る。 ・まとめの音読をする。(タブレットPC)	お手紙をもらってうれしいがまくんと、そんながまくんを見てうれしいかえるくんの様子を、吹き出しに書いている。(読)
三次 10 11	今まで学習してきたことをもとに、楽しく音読劇をすることができる。	・班で役割を決め、読み方の工夫や動きを話し合いながら、音読劇の練習をする。 ・音読劇をし、よかったところや工夫していたところ見つけて、感想を出し合う。	登場人物の言動や気持ちを考え、楽しく音読劇に表している。(読)
12	もらったらしいような手紙を書くことができる。	・自分の友だちが、もらったらしいような手紙を工夫して書いて、交換し合う。	相手が嬉しくなるような言葉を選び手紙を書いている。(書)